うらやす

第34号
発　行
鳥取県女子神職会

ご挨拶

賀茂神社
権禰宜　金田知子

七月四日の定例総会におきまして、大変恐縮ながら二期目の会長職をお受けすることとなりました。ご承知の通り、歴代会長の方々のような卓越した統率力や豊富な実務経験は私には備わっておりません。ですから、多才な会員の皆様に得意分野で力を発揮して頂くことで、当会活動が更に充実することを願っております。会員の皆様と共に私も微力ながら会の発展と次世代への継承に努めて参りたいと思います。どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年は戦後八十年の節目の年でした。女子に神職の門戸が開かれたのも戦後のこと。まだ終戦の混乱が続く世に神職となられた全国の先輩方の多くは、止むに止まれぬ事情を抱えて資格取得され、神社の存続と復興という重責を背負い、時に孤独に苛まれながら女子神職の道を拓いてこられたことと拝察いたします。この度の節目にあたり、その歴史と幾多のご苦労や気高き使命感を私たちは忘れることなく、女子神職の礎を築いて下さった先達への感謝の心を持って神明奉仕に励みたいと思っております。

また、現代に目を向けると、若い世代や新たに神職を目指す方々が神道に深い造詣と関心を持ち、高い志を抱いて積極的に学ぶ姿を見聞きすることが多くなりました。全て受け身の姿勢であった若かりし頃の自分を恥じ入ると共に、次世代の頼もしさを感じています。

先輩方の思いを受け継ぎながら、現会員にも、また将来の女子神職にとっても、当会が心の拠り所であり学びの場であり続けるよう私も努力して参ります。関係各位におかれましては引き続きお力添えを賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和八年 鳥取県女子神職会 役員名簿

（任期 令和八年度～令和十年度）

会長	金田　知子
副会長（会計）	大澤かおり
副会長（庶務）	渡邊　香里
監事	馬田　美香
監事	門脇理恵子
事務局	後藤裕里香
参与	花田　敏子
参与	福田　恭子

戦後八十年を迎えて

鳥取大神宮　権禰宜　大澤かおり

戦後八十年という大きな節目を迎えるにあたり、山口県で開催された中国地区女子神職研修会参加の役員で広島に立ち寄り、原爆ドームを拝見し、広島平和記念資料館を見学致しました。

一発の原子爆弾によって穏やかな日常を送っていた人々の街が一瞬にして破壊され、多くの尊い命が奪われた歴史に想いを馳せ、今日の平穏な日々が決して当たり前ではないことを改めて深く感じました。資料館に展示された遺品や写真、被爆の惨状を伝える記録からは、言葉では言い尽くせない悲しみと苦しみが伝わり、胸が締め付けられる思いでした。

私たちは過去を忘れることなく、慰霊と鎮魂の心を大切にしながら、恒久平和への祈りを絶やしてはならないと強く感じました。そして、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代へ語り継いでいくことの大切さを改めて心に刻む訪問となりました。

神社廳清掃奉仕と神社実務研修会

上津守神社　権禰宜　安達真希子

令和七年九月十日、鳥取縣神社廳の清掃奉仕と神社実務研修会に参加しました。

この日はちょうど、娘の中学校の振替休日と重なっており、皆さんにお願いして子連れ参加とさせていただきました。娘は最年少の十二歳での参加でしたが、皆さんにとても親切にしていただき、あっという間に馴染んで、楽しそうに拝殿の雑巾がけに取り組んでいました。

清掃後に行われた神社実務研修会では、御朱印や授与品についてなど、それぞれの神社の実態を元に意見を交わしました。「研修会」といっても堅苦しい会議ではなく、会員同士がざっくばらんに話をできる雰囲気で様々な角度からの話を聞くことができ、とても有意義な時間となりました。また、松崎神社の渡邊香里宮司がレーザー彫刻機を持参しておられ、娘の描いたイラストをその場で榊の木に刻印してくださいました。短時間で精巧な刻印が出来上がっていくその様子に感嘆の声があがりました。

私にとっても娘にとっても貴重な時間となりました。皆さん、ありがとうございました。

第三十一回 中国地区女子神職研修会

白尾神社　宮司　上屋敷明美

令和七年六月十二～十三日
山口県防府市防府天満宮参集殿
鳥取県からは四名の参加
防府天満宮で正式参拝の後、参集殿で開講式が行われた。

【研修一】
「神様に喜んでいただくために」
講師　防府天満宮宮司
鈴木宏明先生

防府天満宮の創建由緒から歴史を学ぶことと、地域との結びつきをどうつくっていくのかを具体的に発信の仕方・可能性を含め話された。

【研修二】
「狛犬が結ぶ地域と心」
講師　山口狛犬楽会代表
藤井克浩先生

中国地方の代表的な狛犬を紹介された。鳥取県でいえば鹿野町鷲峰神社の狛犬は名工「川六」によるもので美術品としてとらえられていることを初めて知った。狛犬は作られた年代、材質に地域の特徴が現れることを説明された。

夜は和やかに懇親会、最後に「大内のお殿様」を全員が輪になり踊ってお開きとなった。

二日目は毛利氏庭園・旧毛利家本邸の見学。大正五年に建てられた豪邸で見るもの見るもの溜息が出るほどの御殿だった。展示品も歴史的価値の高い資料を見せていただいた。

防府天満宮に戻り、宮司様のお声かけにより茶室芳松庵で一服のお茶を戴き、閉講式に向かった。令和八年は島根県主催を報告され三十一回中国地区女子神職研修会を閉じた。

会員子弟作文披露
神社がつなぐ地域社会

湊山中学校一年　安達真梨子

「社会を明るくする」というテーマを見たとき、私の頭に浮かんだのは、神社という場所だった。なぜなら、神社は地域のつながりを生む場所だからだ。私の母は神主である。正月や祭りなどの行事のときに母について神社に行くと、神社は地域の方々でにぎやかになっている。その地域の方同士での関わりを見ていると、神社は、地域のつながりを深める場として重要なのだと思った。

私が神社を地域のつながりで重要だと思った場面が二つある。

一つ目は、正月に拝殿に上がって手伝いをしたときのことだ。そのときに神社に参拝された地域の方々が互いに新年のあいさつを交わしたり、一緒に参拝したりしているのを見た。もしも神社がなかったら、地域の方々同士でそんなふうに交流することもなかったかもしれない。皆さんが笑顔で神社に参拝されている姿を見ると、神社に来ることを楽しんでいるように見えて私まで嬉しい気持ちになった。私も、地域の方々に挨拶をしたり、話をしたりすることができ、私と地域の方々とのつながりも神社を通して深くなっているように感じた。

二つ目は、私が神社で巫女舞をしたときのことだ。母が子どもの頃までは続いていた巫女舞だが、地域の子どもの数が減ったことで長い間途切れてしまっていた。それを、私と妹と氏子さんの中学生で復活させることになった。当日は、たくさんの総代さんや地域の参拝者の前で巫女舞を舞った。昔の巫女舞を見たことのある方たちの前で舞うのは緊張したが、その後に総代さんたちが巫女舞をほめてくださり、また巫女舞の復活を喜んでくださって、とても嬉しかった。この巫女舞を通して総代さんとも話すことができ、神社がまた、私と地域をつなげるきっかけをつくってくれたように感じた。

このように、神社は地域の人と人とのつながりをつくるために重要な場所である。神社があることで、地域の人同士の交流が深まり、よい関係が築けるようになると思う。私は、数年前から神社の手伝いをしていて、地域の方々と関わることができて嬉しいので将来は神主になろうと思っている。私は、大人だけでなく地域の子どもたちにもたくさん来てもらい、参拝に来られた全ての人が楽しいと感じる交流ができるような神社をつくっていきたい。そういった交流がたくさんの神社で生まれることによって、地域社会はさらに明るく楽しくなっていくと信じている。

新年言寿会開催のご報告

松崎神社　宮司　渡邊香里

本年の新年言寿会（ことほぎかい）は、二月八日に開催を予定しておりましたが、当日は鳥取県内が大雪に見舞われ、安全を最優先に考慮し、やむなく中止となりました。

その後、雪も落ち着き、春の穏やかな日差しが感じられるようになった三月十二日、倉吉未来中心内に新設された「バルコス集いの森店」にて、改めて開催いたしました。

当日は、静かな店内に春の柔らかな光が差し込むなか、久しぶりに再会した会員同士が、長い冬の出来事を振り返るとともに、春から始まる祭りや女子神職会の活動について語り合い、和やかで実りあるひとときとなりました。

議事に追われることなく、ゆったりと会員同士が語り合える場は、会の中でも貴重なひとときとなります。今年はご都合によりご参加いただけなかった方も、来年こそはぜひご一緒に和やかな時間を過ごし、楽しくお話しできればと思っております。

予期せぬ後半人生

二部神社　禰宜　安江志浦子

私は、看護学校三年時に東南アジア三ヵ国医療視察団に参加し、刺激を受け卒業後は海外で働こうと考えていました。しかし、県内志向の母親に見つかり結婚することになりました。

結婚後は三交代の仕事でしたので、祭りなど偶々の休み以外は手伝うことはありませんでした。

五十代頃、浦安の舞を小学六年生に教えていた義母から交代したいと言われやむなく引き受けることになりました。内容も分からず教えていたのですから、今思えば神様に大変失礼な事をしたと反省するばかりですが、この様な状態でしたので、みかねた親族が舞の講習会がある事を教えてくださり、退職後、初めは明治神宮の堂常で五日間の講習に参加しました。ほぼ全国からの受講生、私は袴の着付けの分からない状態で恥もかきましたが、その時に東北の女性神職の方と話す機会があり舞より女性でも神職になれることに感激して帰りました。その頃宮司が幼少時の病気時受けた輸血が原因で肝臓病を発症していたので手助けしたい一心でその旨をお話ししましたが難色を示すばかりで親展がありませんでしたので本家宮司や従兄宮司に口添えしてもらい、やっと研修を受けることになりました。

しかし、全く知識もなく家業も手伝ったこともない者が受けるものですから、手も足も出ない状態を初めて経験しました。でも好奇心は人一倍もっと知りたいと思い、指折り数えて講習に参加して階位を取得しました。舞の講習は後に橿原神宮で何度か受けましたが資金不足で断念しました。

今年二月に二級をいただきました。宮司の手助けができているか、毎回の祭典で、未だにこれで良かったのかと思うばかりですが家で心配しているより、一緒に作法していれば何かすぐにでも対処できるのではと考えています。いままでの事を振りかえりますと、自然と顔がほころびます。看護師一色で終わると思っていた私、まさか、弊殿で祝詞を奏上するなんて想像できたでしょうか。舞や講習や研修で知り合った多くの舞友や神職、沢山助けていただきました。未知なる世界に飛び込んで、無我夢中で学んだ気がします。

いろいろ体験しました中に皇居勤労清掃奉仕があります。

コロナのため中断したため四回しか参加できませんでしたが、近くで今上両陛下と天皇にお会いできた事は本当に幸せでした。

実家の家系は男性は短命ですが女性は寿命が長いようですので、じっくりやっていきたいと思っています。

良い歳を重ねたい

野上荘神社　宮司　花田敏子

最終の祭を済ませると、今年も無事斎行出来た事への感謝の気持ちと、精神的にも体力的にも年々疲れを感じている自分が居る様になりました。「良い歳を重ねて、老いを楽しみたい」などと気楽な頃が懐かしく、七十歳を過ぎ色々な事が出来辛くなって時間も掛かり、それを口実に止めてしまう事が少しずつ増えているこの頃です。また地域に空き家が目立つようになると、「いずれ出来なくなるだろう」と、処分や取り止めの方向へ流れていく。その考え方は、神社の護持にも現れ、神主としての力不足を感じて居た時、氏子さんから揮毫を頼まれました。熱意に押され引き受けた事を後悔しながら、数ヶ月掛かってやっと渡すことが出来ました。「宮司さんに書いて貰って、有り難い。」とお礼を言われた時、拙い文字でも書いたことで、「宮司」の二文字の中にある重みと責任を、今更ですが教えていただいた出来事でした。

今だからこそ出来ることも有るかもしれない。まだまだ老いを楽しむ余裕はありませんが、神主として迷いながら、良い歳を重ねていきたいと思います。

第三十三回中国地区女子神職研修会（鳥取県主幹）に向けて

三輪神社　禰宜　門脇理恵子

去る三月十二日に、倉吉交流プラザで第三十三回中国地区女子神職研修会実行委員会の立ち上げ会が行われました。僭越ながら実行委員長の任をお預かりすることになりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本会は、鳥取県神社庁様をはじめ、県内各宮司様にもご協力をお願いして、中国五県の女子神職の皆様に鳥取県の素晴らしさを知っていただき、また会員相互の交流を深めることを目的として開催するものです。

今回は米子市を会場に、日本遺産でもある霊峰大山と大山信仰をテーマとした研修会を予定しております。

県内会員の皆様には、ご多忙のこととは存じますが万象お繰り合わせの上ご参加いただき、会員一丸となって研修会を成功裡に終わらせることができますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

令和６年度・令和７年度　鳥取県女子神職会活動報告

【令和六年】
六月一日(土)
鳥取県女子神職会　役員会
倉吉市　四名「コメダ珈琲」
六月十日(月)～一一日(火)
第三十回中国地区女子神職研修会
広島県福山市　四名
「福山ニューキャッスルホテル」
六月二十日(木)
監査会・役員会　琴浦町　四名「グレイン」
七月三日(水)
鳥取県女子神職会　定例総会・正式参拝
湯梨浜町　一二名「倭文神社」
鳥取県女子神職会　総会懇親会・四十周年慰労会
湯梨浜町　九名「河本魚店」
七月一八日(木)
全国女子神職会設立三五周年記念大会
三重県伊勢市　四名
「神宮会館」
七月一九日(金)
全国女子神職会代議員会
三重県伊勢市　一名
「皇學館大学」
九月四日(水)
神社庁清掃奉仕　鳥取市上町　八名
「鳥取県神社庁」
研修会『衣紋研修』　仝　一一名

【令和七年】
二月一六日(日)
新年正式参拝
故岸本栄様(鳥取女子神職会元顧問)お墓参り
鳥取市宮谷　九名「立見神社」
新年言寿会　鳥取市湖山町　八名
「仏区里屋」
五月一八日(日)
研修会「ものづくり等体験(仮)」
琴浦町　九名「複合交流施設」
七月五日(土)
鳥取県女子神職会　定例総会
鳥取市　九名
「長田神社社務所」
研修会「古文書に親しむ」　仝　七名
講師　大澤邦彦　先生
七日二二日(火)
全国女子神職協議会教養研修会
東京都渋谷区　一名
「神社本庁」
七月二三日(水)
全国女子神職協議会代議員会
東京都千代田区　一名
「靖国会館」
九月十日(水)
神社庁清掃奉仕　鳥取市　八名
研修会『実務研修』「鳥取県神社庁」
十月一日(水)
会報「うらやす」三十三号(記念号)発行

【令和八年】
二月二二日(日)
役員会　米子市淀江町　三名
「淀江文化センター」
三月一二日(木)
第三十三回中国五県女子神職研修会
倉吉市　十名
実行委員会立上げ会「倉吉交流プラザ」
新年言寿会　八名「バルコス集いの森店」
五月三十日(土)
定例研修会「古跡探訪～淀江～」
米子市淀江町　十名
第一回実行委員会「ゆめ温泉」「天神垣神社ほか」
六日二日(火)～三日(水)
第三三回中国地区女子神職研修会
浜田市　四名
「ワシントンホテル浜田」
六月一四日(日)
役員会　琴浦町　四名
「諏訪神社社務所」
六月一八日(木)
監査会　琴浦町八橋　四名
「グレイン」

昇級おめでとうございます

このたびのご昇級、誠におめでとうございます。
日頃より神社奉仕に真摯にお努めになられているご功績が実を結ばれましたこと、心よりお祝い申し上げます。
今後ますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

【二級上】
野上荘神社　宮司　花田敏子様

【二級】
二部神社　禰宜　安江志浦子様

編集後記

いつも発行が遅くなり、申し訳ございません。年度内の事業を掲載しようとすると、発行が年度をまたぐことが少なくありませんでした。そこで今回の総会において、会報の内容は前年度総会後の事業から新年度総会までとし、八月発行を目指すこととといたしました。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。
（渡邊）